

審議会等会議録

審議会等の名称	令和5年度第1回山口市立図書館協議会
開催日時	令和5年6月1日（木曜日）10:00～12:00
開催場所	山口情報芸術センター 2階 多目的室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、仲村委員、井上委員、安光（真）委員、属委員、三坂委員、山田委員
欠席者	福永委員、瀬川委員、中村委員、野村委員
事務局	大井中央図書館長、杉山小郡図書館長、網田秋穂図書館長、国重阿知須図書館長、榎本徳地図書館長、徳本阿東図書館長、中山中央図書館管理担当主幹、平岡中央図書館サービス担当主幹、一村中央図書館サービス担当主幹
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状交付 2 委員紹介（自己紹介） 3 会長及び副会長の選出 4 議事（1）令和4年度山口市立図書館運営状況について （2）令和4年度事業実績及び令和5年度事業予定について （3）その他 5 その他
内容	<p>○中央図書館 中山管理担当主幹</p> <p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>まず、本日の資料について確認させていただきます。先日郵送しております資料は全部で5点です。令和5年度第1回山口市立図書館協議会次第、山口市立図書館協議会委員名簿、席次表、令和4年度山口市立図書館運営状況（資料1）、山口市立図書館運営状況の参考資料（資料2）となっております。</p> <p>また、前期から引き続き委員の方には、令和4年度第5回山口市立図書館協議会の議事録を置いております。これは、図書館のホームページに掲載を予定しておりますのでご確認ください。修正が必要な場合は、ご連絡ください。</p> <p>それではただいまより、令和5年度第1回山口市立図書館協議会を開催します。</p> <p>最初に委嘱状の交付を行います。中央図書館長が皆様の前に委嘱状をお持ちしますのでお受け取りください。</p> <p>委員委嘱（委嘱状交付） 出席者に交付</p> <p>続きまして、大井中央図書館長があいさつをいたします。</p> <p>○中央図書館 大井館長</p>

本日はご多忙中にもかかわらず、山口市立図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日開催します当協議会につきましては、図書館の運営に関し、会長の諮問に応じるとともに、図書館で行う図書館方針について、館長に意見を述べることを目的として設置しているものです。

今年度の会議につきましては、今回を含めまして、3回開催を予定しております。昨年度策定しました、サービス計画、また子ども読書計画に基づく、各種事業などに対してご意見をお伺いしたいと考えているところです。

協議会の委員の皆様のご構成につきましては、学校教育、社会教育に関係する方、また家庭教育の向上に資する活動を行っておられる方、そして学識経験を有する方をお願いをしております、今回12名の方に委嘱をして、任期を2年としております。

さて、令和2年から猛威を振るっていた新型コロナにつきましては、もちろん図書館にも大きな影響を与えておりました、その辺り少し触れさせていただきますと、ようやく5月の連休明けから季節性インフルエンザと同じ5類へと移行されまして、日常が戻りつつあるところです。市立図書館のコロナ対策としましては、引き続き御覧になったとおりで、職員のマスクの着用や、パーティションの設置などを継続しております、もう少し様子を見ながら、他の機関、市の施設などと足並みをそろえる形で、撤去等について考えていきたいと考えているところです。

こうした中で、本日ににつきましては、会長、副会長さんの選任、そして昨年度と本年度の事業についてご説明をさせていただきます、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

いろいろとご面倒をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。

○中央図書館 中山管理担当主幹

次に委員の皆様から、自己紹介を一言ずつお願いしたいと思います。

委員紹介（自己紹介）

事務局紹介（自己紹介）

本協議会は12名の委員の構成となっております。

本日は中村委員、野村委員、福永委員、瀬川委員が欠席ですが、委員の過半数の出席がありますので、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは続きまして、会長及び副会長の選出をお願いしたいと思います。

会長、副会長につきましては、山口市立図書館条例施行規則第23条により、委員の互選により定めることとなっております。

皆様の中から自薦、他薦を含めてどなたかご意見をいただければと存じます。ありませんでしょうか。

それでは、事務局としましては、まず会長はこれまでの協議の継続性の観点も
あることから、引き続き、安光裕子委員にお願いできたらと考えております。

また、副会長は公立図書館の勤務のご経験があり、山口大学人文学部の図書館
司書養成課程で司書資格課程をご担当されております、伊東委員にお願いできたら
と考えております。

皆様、いかがでしょうか。

(拍手多数)

ありがとうございます。

ただいま、拍手多数によりまして、会長は安光（裕）委員、副会長は伊東委員
でご承認いただいたということで、よろしく願いいたします。

それでは、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会長が議長となりま
すことから、これから安光（裕）会長に議事進行をお願いいたします。

安光（裕）会長、伊東副会長におかれましては、席をお移り下さい。

それでは、安光（裕）会長、伊東副会長、よろしく申し上げます。

○安光（裕）会長

自己紹介で申し上げたのですけれども、過去のこと、過去ばかり引きずって
いてもいけないと思いますが、現在そして未来があるのは、これまで歴史を重ねて
いるからです。

今年、山口市立中央図書館が20周年、小郡図書館が15周年、阿東図書館が
10年、阿知須図書館が20年となります。

まだ、もう少しお役に立つことがあるかなと思っております。

引き続き会長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

○伊東副会長

この前の2年間、図書館サービス計画とか子ども読書推進計画を、安光会長の
もとの、とても盛り上がった会議になっていました。

またこれからも、継続してきちんとしていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

○安光（裕）会長

それでは議事に入ります。

まず、(1) 令和4年度山口市立図書館運営状況について、事務局の説明をお願
いいたします。

○中央図書館 中山管理担当主幹

資料1の1ページをご覧ください。

1. 主要事業についてです。主な事業として、以下のとおり取り組みました。

(1) につきましては、令和5年度から向こう5年間を計画期間としまして、図
書館の基本的なサービスの在り方や、新たなサービスの提供に向けた方向性を示
すため、第四次図書館サービス計画及び子ども読書活動推進計画の策定をしまし
た。

(2) につきましては、山口県央連携中枢都市圏域の7市町による図書館活用促進プロジェクト事業として「図書館で学ぶナナシマチの歴史」を題材に講演会、ワークショップ、企画展示等の交流促進イベントを実施しました。

(3) につきましては、市の北部地域を巡回する移動図書館「ぶっくん」について図書を紫外線から守るとともに、風雨や積雪でも支障なく積載作業ができるように阿東図書館の敷地内に車庫を新築しました。

(4) につきましては、読書のバリアフリー化に係る点字用のパソコンとプリンタを購入しました。

続きまして2. 事務事業別概況についてです。市立図書館の所管する7つの事務事業について事業別に取組を載せております。

まず(1)の図書館管理運營業務についてです。

ア. 図書館協議会の開催につきましては、昨年は第四次図書館サービス計画の策定がありましたことから、以下のとおり、協議会を5回開催しております。

イ. についてですが、広報活動としまして、図書館だより、ウェブサイトやメールマガジン、ブログ等への掲載を実施しました。以下のウ、エ、オにつきましては、先の主要事業となりますことから割愛します。

続いてサービス担当の方からご説明をします。

○中央図書館 平岡サービス担当主幹

それでは2ページをお開きください。

まず、(2) 移動図書館管理運營業務についてご説明します。

北部地域につきましては阿東図書館を、南部地域は中央図書館を発着場所として2台体制で学校、地域交流センター、集会施設、病院等を巡回しました。

サービスステーションが43か所ありまして、貸出利用者につきましては、表のとおりでございます。

(3) 図書館資料整備事業についてです。

こちらは選書委員会を毎週開催しまして、各館で選書しました資料の受け入れを決定しますとともに、毎月除籍検討委員会を開催しまして、除籍を行いました。購入としましては、全部で3万1,541点です。除籍としましては1万7,114点です。

(4) 学校図書館支援サービス推進事業です。

市内の全小中学校、保育園、幼稚園、認定こども園への配送や、学校からの要請に応じた出張ブックトーク、職場体験の受け入れを行っております。

また全小学校に広報し、「本は友だち」を配布しました。

学校司書研修会において、学校図書館支援スタッフが企画した研修会も実施しております。

団体貸出としては、学校配送で4万4,800冊です。あとはこちらをご覧ください。

(5) ブックスタート推進事業です。

乳児検診の機会を捉えまして、絵本の読み聞かせや、絵本等を配布するブックスタート体験会を開催しております。

また体験会に参加されなかった方に絵本、ブック等をセットにした「ブックスタートパック」を郵送によりお届けしております。

体験会の開催は72回となっております。体験会の参加率は72.7%です。

(6) 子ども読書活動推進事業です。

これは「好きなお話の絵」を募集しまして、市内各図書館で掲示しました。また児童サービスボランティア養成講座も開催しております。

令和5年度から5年間の計画期間とする子ども読書活動の支援や読書環境の整備充実に向けた方向性を示しています「第四次子ども読書活動推進計画」をご案内のとおり策定いたしております。

「好きなおはなしの絵」につきましては、募集期間を4月13日から5月14日としまして、応募点数は2,203点でした。

また「ボランティア養成講座」につきましては、こちら訂正があります。開催日は3月18日として、参加者が8名ではなく17名でした。申し訳ありませんが17名に訂正をお願いします。

続きまして3ページとなります。(7) 図書館活用推進事業です。

図書館利用者層の拡大に向けた行事、イベント等をこちらの事業で実施しております。

ア. としまして「まちじゅう図書館」を実施しました。こちらの方は中央図書館もかなり力を入れた事業として、パートナー事業者を公募しまして中央図書館から2か月に1回、配本しております。事業所につきましては15事業所あります。イベントの参加者などは全部で201人となっております。

イ. としまして、各館の図書館まつりを申し上げます。山口市立中央図書館まつりのほかにも、小郡図書館まつり、秋穂図書館まつり、きらら館まつり、徳地図書館まつり、阿東図書館まつりを実施しました。「こどもワイワイ図書館」につきましても4月の終わりに実施しております。

エ. としまして、以下につきまして各館の行事を抜粋して説明します。

中央図書館として、作家講演会を7月3日に実施しました。

次にオとして、「ライブラリーコンサート」、こちら中央図書館ですが、開催日は12月25日に実施しております。

カ. 小郡地域交流センターにおきましては、連携上映会を実施しておりますけれども、こちらは8月21日、3月5日です。

キ. 「大人のためのおはなし会」、これは秋穂図書館ですが、こちらは12月3日、3月4日に実施しました。

ク. 「歴史講座」です。こちらは徳地図書館です。7月16日から3月18日にかけて、うち5日間、「歴史講座」を実施しました。

最後になりますが、ケとしまして、「ナナシマチの交流促進」イベントを中央図

書館の方で実施しております。こちらは「図書館で学ぶナナシマチの歴史」と題しまして10月から11月にかけて実施しました。以上です。

○中央図書館 中山管理担当主幹

続きまして、資料2の6ページ、7ページをご覧ください。

まず資料2の6ページです。

令和4年度山口市立図書館各種指標について載せております。こちらの目標値につきましては市の総合計画や事業計画の中で目標値としているものです。

実績につきましては、令和3年度と4年度の実績及び比較を載せております。

まず基本指標の「貸出点数」につきましては、197万点の貸出を目標値としていますが、令和4年実績が127万1,209点、前年度比1,769点の増となっております。

2番目の「入館者数」については、75万人を目標値としておりますが、58万3,508人で、前年度比は3万9,655人の増となっております。

3番目の「蔵書冊数」については、計画的な整備により、目標値の70万点にすでに達しております。4年度実績は77万7,242冊です。前年度比は1万6,825冊の増となっております。

4番目の「市民一人当たりの貸出点数」につきましては、10冊を目標値としていますが、6.7冊で、前年度比は0.1冊とわずかに増加しております。

ここ数年の状況から見ますと、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和元年度に1回、令和2年度に2回、令和3年度に1回の臨時休館を行っており、いずれも臨時窓口を開設して対応した期間がありました。

また感染の影響により、来館を控えた利用者が多かったことなどから、「貸出点数」や「入館者数」が減少したものの、近年、令和3年、4年度につきましては少しずつ増加しているものの、まだまだ十分ではないといった状況です。

以下につきましては、事務事業別の項目ごとに実績を上げておりますので、ご覧ください。

また7ページに、各館毎の実績を載せておりますのでご覧ください。

以上で、山口市立図書館運営状況の説明を終わります。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

皆様に確認いたします。

今日の議事録を作成するにあたり、録音させていただくことにご同意いただきたいということと、皆様方にご確認いただいた後に、ホームページに掲載してよろしいでしょうか。

（了承）

それから、これから皆様方のご意見等をいただきますが、名前を言われた後に発言をお願いします。

それでは、令和4年度山口市立図書館運営状況についてご説明いただきました

が、何かご質問等ありますか。

○伊東副会長

昨年度、第四次サービス計画が策定されているので、その中には書かれていたかもしれませんが、先ほどご説明があった資料2の(3)各種の指標の、図書館資料整備事業のところで、年間資料の「購入冊数」の目標が3万7,000冊になっていて、3年度の実績が3万4,000冊、4年度の実績が3万1,000冊ということで、いずれも目標に届いていないところです。

これだけの目標を上げるということは、当然ながら資料費の予算がついていくのかということが目安になります。今年度は少し減っています。それは資料費の予算などの関係がありますか。

それと今後は分からないかもしれませんが、今年度について、資料費とこの目標値との関係が詳しく分かれば教えていただきたい。

○中央図書館 大井館長

図書館資料の「購入冊数」につきましては、できるだけこの目標に到達したいということで、毎年財政当局の方に、例えば地域資料を充実させたいということで予算を要求しますが、なかなかつけていただけないというような現状がありまして、こういった目標になかなか届かないという現状があります。

資料の買い方も影響すると思いますが、例えば単価が安いけれどもしっかりした本を買うなど、冊数を稼ぐということもあろうかと思いますが、やはり、図書館として欲しい本を買いますと、なかなか3万7,000冊に届くのは難しい。やはり予算的なものが不足しているというのは否めないところだと思います。

○伊東副会長

減っているのは、何か理由がありますか。具体的に。

○中央図書館 大井館長

冊数ですが、これにつきましては、図書の単価が影響します。図書の単価がかなり上がってきている関係があります。また、大型絵本などは、1冊1万円するなど価格の高いものになっておりますので、そういったものを購入した関係があり、このような冊数の減という形になっていると考えております。

○伊東副会長

資料費はどういう感じですか。

○中央図書館 大井館長

資料費につきましては、予算ベースでは、昨年度と今年度は同じ金額としております。今年度も引き続き資料の充実を努めていきたいと思っております。

○伊東副会長

だんだん資料費が減ってきているという感じではないのですね。

○中央図書館 大井館長

今のところは要求して、それを確保しているという状況です。

今後も資料の購入の冊数を増やすということについても、努めていきたいと思

っております。

○伊東副会長

それは良かったです。資料費がどんどん少なくなっているのではないかと、それが一番心配でした。

○中央図書館 大井館長

何年かに1度、市全体の予算のシーリングというのがありまして、例えば5%下げるとか、そういったときにはやむを得ないこともあろうかと思いますが、今のところは昨年度並みの予算をつけていただいております。なかなか増額までは至っていません。

○伊東副会長

例えば3万冊買おうとすると、平均単価を2,000円と考えたとして、6,000万円いります。6,000万円の予算を確実に毎年それ以上に確保するというのは、それはかなり大変なことだと思います。

今は2,000円位ではないですよ。今、文庫本だって1,000円を超えていますから。なので、実質目減りをしているというふうに考えて、資料費はかなり苦しいのではないかと。目標を3万7,000冊に定めてらっしゃるといのは、非常にその目標設定そのものはよろしいかと思えます。よろしく願いいたします。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

今の市長さんが「日本一本を読むまち」ということを前面に出しておられます。ただ、伊東委員さんが言われたように、単価が高くなるということは、マイナスのシーリングはかかっているとはいえ、やはり冊数が減ってきます。だからと言って安いものを購入していくというようなものではないかと思えますので、その辺は選書会議等でご検討いただければと思います。

令和4年度のもので、他に何かありませんでしょうか。

これは令和5年度に聞くべきかもしれませんが、毎年基本指標のところで「市民一人当たり貸出点数」10冊、これは全国的にもかなり厳しい数字だと思っていますし、実際これに到達したところというのはかなり少なくなっていると思います。それにしても6.7、6.6ということですから、これを6.8、7と進めていくためには、どのような方策をお考えですか。

何か方策があるのか、現時点でお考えがあればお聞かせいただきたいと思えますのでお願いします。

○中央図書館 大井館長

引き続き、これまでやってきました図書館事業としても上げております活用推進ということで、これまで図書館に来られなかった方、関心がそこまで高くない方へのアプローチをどうしていくのかというところが一番大事なのかなと思っております。

人口が少なくなってくる、高齢化も進んでくる、子供もまた少なくなってくるということで、図書館にとっても、また市にとっても非常に厳しい状態が続きます。活用をしていただくようなイベントを組んで実施するなど、より使っていただける方を増やしていきたいと考えております。

○中央図書館 平岡サービス担当主幹

例えば、今、すでに何度も図書館をご利用いただいている方、それからまだあまりご利用いただいていない方、両方のアプローチの中で、今ご利用いただいている方は何度も図書館に来ていただくような仕掛けというのが一つと、あとは、あまり図書館にいらっしゃらない方に対しては、例えば講演会を開催したり、イベントを開催したりすることによって、図書館とそういったイベントをうまく繋げていって、次は図書館の方に誘導していくような、そういった仕掛けも必要なのかなと思っております。

それによりまして、貸出冊数を増やしていき、お一人おひとりの貸出冊数もそれに伴って増加していくような仕掛けというのもしやっていかないといけないと考えております。

○安光（裕）会長

何年か前から「まちじゅう図書館」を一村さんが始められて、かなりいろいろな層の方が来館されていると思います。それが貸出までに繋がるといいですね。

初めての方も何かありますでしょうか。

○仲村委員

伊東委員が言われたことに関連して一つ、それからもう一つ別に、分からないのでお尋ねしたいことがあります。

まず一つ目が、指標の事が話題になったと思いますが、私の個人的な感覚からすると「貸出点数」や、先ほど安光委員が言われました「市民一人当たりの貸出点数」がかなり高めに設定してあるように思います。

計画時に設定されたと思いますが、これはこの2年の実績値しか出ていないので、コロナの影響で差が出ているだけで、実際は達成できそうな見込みだったのか、それとも相当高めに設定したのか、ということがお尋ねしたい。というのは相当高めに設定したのだとしたら、その計画の時の根拠は何だったのかということになりますので。

もう一点、学校図書館支援サービス推進事業が、資料1の2ページに載っています。私、非常に重要なことだと思っているのですが、その中に学校司書の研修会が行われましたということが書いてあります。これの概要というか、実績ということが特には記載されていないので、もし参考までに教えていただければありがたいなど、以上二点です。

○安光（裕）会長

はい、ひとつずつよろしく願いいたします。

○中央図書館 大井館長

まず、指標についてですが、第三次図書館サービス計画を作った際ですが、その頃は7点台で上り調子でした。いろいろ事業も始まったりして、図書館に来ていただいていた。それと中核市の中で「貸出点数」を一番にしようというのを目標に掲げていまして、そこが9.6、7の辺りでした。それを越えた「貸出点数」を目指そうということで、そこを設定しております。なかなか乖離がありますが、それに向けて頑張りましょうという目標にしております。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

まず、学校図書館は、市内小学校が33校と中学校17校ありますが、そちらには学校司書という非常勤の職員がいて、現在は一人が2校ないし3校を受け持つといった形で学校図書館を運営しているということがあります。

そういった方たちに対する研修は、基本的には学校教育課という市教委の部署がありまして、そちらが担当しています。市立図書館も連携してそういった研修、実施にあたっています。

昨年であれば年間5、6回ほど、全体としては研修会をしております。

例えば学校司書の中でもベテランがおられたり、新しく来られた方もおられるのですが、ベテランが講師になって、例えばアニメーションのやり方とか、学校図書館の細かい運営のやり方とかを、全体で説明するというのを、順を追って2、3か月に1回くらい研修会をやっております。それと併せて市立図書館の方で企画する研修会も、その中に混ぜていただいています。

昨年であれば、図書館も、市内の学校図書館も、TRCという会社のマーク、図書館の本のデータを使っているのですが、その内容改訂というのが一昨年ありまして、項目が増えたり、データの構成が変わったりということがありましたので、その使い方などをしました。また、細かい話になりますが、TOOL iというポータルサイトがあって、学校図書館の人たちがそのサイトを使っている本を検索をしたり、書誌の確認をしたりするのですが、そういったサイトの使い方などを、TRCが図書館の間に入る形でお呼びして、東京から講師の方に来ていただいて、こちらの中央図書館で研修会をしました。

それからその前には、ポプラディアという辞書が、新しくポプラ社から発行されましたが、これは10年に1回改訂される百科事典ですが、それが新しく改訂されました。そのポプラディアの使い方、小学校だと4年生で学習をするのですが、辞書の引き方など、それをどのように子どもたちに説明するか、辞書の使い方の方の方法とかポプラディアの改定の内容についてといったことを、ポプラ社の方を講師としてお招きして、研修会をしたり、そういった形のつなぎ役として、講習というのを図書館の方で企画していました。

○仲村委員

ありがとうございました。

2点とも大変明快にお答えいただいて、大変勉強になりました。

差し支えなければ、もっとそういったことをやっているということを明示して

いただくと、非常に重要なことだと思しますので、一文で終えてしまうのは寂しいなという気がしますので、折角ですので、明示していただいたらよろしいかと思ひます。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

令和4年度の図書館年報なんかには記載されるのでしょうか。

9月くらいにできると伺っておりますので、記載されるとよろしいのではないかと思ひます。

学校司書の研修会の事を言われましたが、司書教諭の研修と合わせて研修、学校図書館職員全体の研修はされていますか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

現在は、司書教諭の方を対象としたものは、図書館では行っていません。

学校図書館の運営の実務にあたっては、いろいろな方が学校図書館に関わっておられると思ひますが、司書教諭、これは基準があつて発令されているものだと思います。司書教諭と学校図書館の図書担当の先生というのは、必ずしも一致しているかというところ、違うところがあるかと思ひます。それと先ほど申しました、学校で配置されている学校司書がいます。例えば大規模校ならPTAとか、別の雇用の形態で学校図書館に入っている方もおられます。それからボランティアの方もおられます。いろいろな方が関わつて学校図書館が成り立っていると思ひます。

こちらで中心的にサポートして研修をしているのは、学校司書の方を対象にしており、それ以外の方に対するアプローチというのは、今のところはこちらでは行っておりません。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

次に（2）令和4年度事業実績及び令和5年度事業予定について、まず、各館の特徴的な事業を中心にご報告をお願いします。

まずは中央図書館からお願いします。

○中央図書館 大井館長

資料1の4ページと、資料2の2ページをご覧くださいながら、説明させていただきます。

説明する前に、資料2の2ページ（6）子ども読書活動推進事業につきまして、補足と訂正がありますので申し上げます。

まず、中央のポツの3つ目、「おはなしひろば」（年数回）1回、83人と書いてありますが、2回の83人の間違いでした。訂正します。

それと、追加ですが、これは令和3年度から活動しております、お話パレットさんが、月一回第4土曜日の3時から「おはなし会」をされておまして、実

績として12回、262人の方に参加をいただきました。それが漏れておりました。大変失礼しました。記入をお願いします。

資料に戻りまして、資料1です。中央図書館分になります。

図書館利用層の拡大を図るため講演会や企画展示、イベント等を実施しました。また、「まちじゅう図書館」に取り組み、そして児童ボランティアや朗読ボランティア等の図書館ボランティア団体を対象とした研修会などの実施をいたしております。

まず、利用層の拡大につきましては、作家講演会として、資料2の2ページ、7月3日にしております「あんまりすてきだったから」出版記念トークイベントとして、くどうれいんさんと筒井大介さんにお越しいたいで講演会をいたしております。

また、市の他部署と連携した健康づくり講座の実施として、ウォーキングの講座を健康増進課と連携して実施しております。

また、民間事業者と連携した各種事業の実施ということで、レノファ山口のコーナーがありまして、選手への質問や似顔絵展示をいたしております。

また、「まちじゅう図書館」の取組で、先ほどの全体の説明の中でもありましてとおり、配本やイベントなどをいたしております。

例えば、資料2の2ページの6月18日、「淹れ方で変わる！アイスコーヒー飲み比べ講座」、参加者20人ですが、こちらコーヒーボーイといって商店街にありますが、そういった所とコラボした企画を実施しております。

また、毎年行っております「ワイワイ図書館」を実施しております。

続きまして子どもの読書活動の推進です。

絵本作家さんを講師とした行事などとして、これは、資料2の3ページになりますが、11月10日にこみねゆらさんをお招きして「アンナとビープのきせかえ人形を作ろう！」を実施しております。

また、定例の「おはなし会」もいたしております、先ほど申した、資料2の2ページで「おはなし会」を実施しております。

また、計画的な設備・備品の導入ということで、朗読サービス室に、点字用のプリンタ・パソコンの備品を購入しました。

また、第四次山口市立図書館サービス計画と子ども計画を策定しました。

続きまして、今年度の事業です。資料1の6ページをご覧ください。

今年度新しく取り組むものについて説明をさせていただきます。「新」と書いてあるのが新しいもので、開館の20周年事業を実施いたします。まだ調整中ですが、有名作家さんをお呼びしての講演会など、図書館まつりの規模を多少拡大して実施したいと考えております。

また、DXの推進ということで、マイナンバーカードに図書館のカード情報を紐づけしまして、マイナンバーカードで図書館の利用ができるようにする。また、スマートフォンの画面に図書館のカードを表示させてそれを読み込むことに

よって、図書館のカードと同様に使える。そのようなサービスを開始したいと考えております。今のところ、秋頃の開始を目指して準備を進めているところです。中央図書館については以上です。

○安光（裕）会長

それでは小郡図書館をお願いします。

○小郡図書館 杉山館長

小郡図書館です。令和4年度の事業実績と令和5年の事業予定についてです。

まず、令和4年度の事業実績です。資料1の4ページになります。

昨年度は、利用者層の拡大としまして、図書館友の会「鉢の子」と連携したイベントの実施ということで、詳細については、資料2の2ページから3ページに掲載しておりますが、多くの事業をやっております。

続きまして、子どもの読書活動の推進として、定例おはなし会等を実施しました。資料2のとおりです。

他機関との連携ということで、小郡文化資料館の行事にあわせて資料展示をしております。これは資料2の中段になりますが、7月28日に「絵本から学ぶ昔の暮らしと道具」ということで、小郡文化資料館との連携の事業をしております。

また、小郡地域交流センターとの連携で、先ほど運営状況の説明の中でも少しありましたが、上映会を3回しております。大人向けの上映会を1回と、子ども向け上映会を2回。それは2、3ページに掲載してあるとおりです。

それから資料整備についてですが、これは引き続いて地域資料の整備を行っております。そして小郡図書館の閉架書庫がもう一杯になっておりますので、閉架書庫の棚の予算要求はしているのですが、なかなかこれも前に進まない状況です。その中で、今あるキャパの中で、工夫しながら整理をしているというふうな状況です。これも引き続いてやっております。

詳細については、資料2に掲載してあるとおりですが、ひとつ、特徴的なことを申し上げますと、資料2の3ページの中段に、小郡の図書館活用事業を掲載させていただいておりますが、7月29日から8月24日に「山口線をつなぐ鉄道写真展」を開催しております。

これは昨年、山口線の新山口駅から津和野間が100周年ということで、阿東図書館さんと連携させていただいて、写真展を開催させていただきました。阿東さんと小郡とでスタンプラリー等も実施させていただいて、たくさんの方の参加があったということでございます。実際に山口線全線開通は、今年100周年なのですが、一足早く、昨年度、津和野間の開通が100周年ということで実施させていただきました。以上が令和4年度の事業実績です。

続いて令和5年度の事業予定ですが、資料1の6ページになります。

小郡図書館では今年度の利用者層の拡大、子どもの読書活動の推進、企画展示の充実、他機関との連携、資料整備に努めてまいります。

そして、新規事業として、小郡図書館は15周年ということになりますので、記念事業を考えております。今は具体的には決まっておりませんが、計画では作家さんと呼んで、子ども向けワークショップ等をやりたいと思っております、関係者に打診をしているところです。また、決まりましたらご報告できると思っております。

それと、施設の整備についてですが、小郡図書館に太陽光発電設備がありますが、これが何年か前から使用不能になっておりまして、やっと今年予算がつきましたので、その整備、修繕ということを計画しております。

以上、小郡図書館の令和4年度の事業実績と5年度の事業予定でした。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございました。次は秋穂図書館をお願いします。

○秋穂図書館 網田館長

続きまして秋穂図書館です。資料1の4ページをご覧ください。

まず、4年度の事業実績として、秋穂図書館としては読書環境づくりを、施設、設備、あるいは展示などで、多数の方に読書に親しんでいただける環境づくりに取り組んでまいりました。

その中で特徴的なものとしては、おはなし会の充実、「子どものおはなし会」はもとより、「大人のためのおはなし会」を実施し、さらに一般向けの読書活動を推進してまいりました。詳細については、資料2の3ページの方に、取組の参加人数等の記載があります。

併せて地域資料の充実を図っておりまして、地域の昔話の紙芝居の上演等を実施し、地域に親しんでいただけるような取組も併せて進めました。

続きまして、令和5年度の事業ですが、資料1の6ページになります。

引き続き読書環境づくりの充実を進めていくとともに、おはなし会等の実施を進めてまいります。その中で、図書館施設の改修という形で、一部施設の天井を、交流センターと合築の施設ですが、改修をしてまいりたいと考えております。まだ具体的な時期は決定しておりませんが、なるべく、休館ということがないような形で、快適な施設のための改修を今年度進めたいと考えております。以上です。

○安光（裕）会長

それでは、阿知須図書館をお願いします。

○阿知須図書館 国重館長

阿知須図書館についてです。

令和4年度の実績事業につきましてご説明申し上げます。

まず、資料1の5ページになります。

令和4年度の主な取組として、「利用しやすい環境づくり」、「新たな利用者の拡大促進」及び「学校等との連携強化」につきまして、引き続き取組を行いました。具体的な内容ですが、資料2の1ページをご覧ください。

学校図書館支援サービス推進事業では、職場体験として川西中学校の2年生、3名を受け入れました。地元の阿知須中学校はコロナ禍ということもあり、職場体験自体を中止とされました。5年度からは再開され、先日3名の受け入れを行ったところです。

次にブックスタート推進事業ですが、ここで、修正をお願いします。

1ページが一番下になりますが、体験会の9月が抜けておりました。大変申し訳ありませんでした。体験会自体は、隔月の奇数月に開催しております。参加状況としては、対象地域が阿知須地域、及び佐山地域でして、対象者88名のうち参加者55名となっております。ちなみに阿知須地域の対象者は74名で、参加者は43名でした。

3ページをご覧ください。図書館活用事業では、11月3日に、図書館まつりであります「きらら館まつり」を開催し、子ども向け上映会や本のリレー市、おはなし会などを行いました。

また、手作り参加型企画として、「七夕かざり」や「おすすめ本教えてください」を行いました。「おすすめ本教えてください」は、利用者のお勧めする本のタイトルをポップに記入し掲示します。いわゆる伝言板のようなものを設置し、利用者がお勧めする本を皆さんに紹介する催しものです。9月29日のまちじゅう図書館講座ではまちじゅう図書館に登録をいただいている、美容室のクレスト・シーに、メイク教室を開催していただきました。

次に令和5年度事業です。資料1の7ページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、これまで継続した事業を感染拡大前の水準に戻せるよう取り組んでまいりたいと考えております。「地域の保育園の子どもたちの来館促進」につきましては、隣接するあじす保育園の園児の皆さんに利用者カードの申請案内を行います。

また今年度の新規事業として、平成15年7月に開館しました阿知須図書館きらら館が、20周年を迎えることに伴い、記念事業を開催することとしております。まだ記念事業の正式な内容は公表しておりませんが、モザイクアートの製作展示などを予定しております。

モザイクアートは、令和3年度山口市美術展覧会で大賞を受賞された村田賢二さん、旧阿知須町出身で現在嘉川在住の方ですが、この方に作品製作をお願いしております。材料となる5cm角の木片に色を塗って製作しますが、今回はその木片に阿知須小学校、井関小学校、両校の3年生から6年生までの児童の皆さんに思い出の本や、面白かった本のタイトルを記入してもらいます。図書館窓口でも行い、全部で484個の木片を使用して、出来上がったモザイクアートを図書館内に展示します。日程は未定ですが、両小学校児童の代表による除幕式も考えております。

このほか、元山口市地域おこし協力隊で、市内で「キズク・プロジェクト」という会社を立ち上げておられる中岡祐輔さんをお願いして、牛革製ブックカバー

づくりのワークショップを7月30日（日）、午前午後の2回、各回とも申し込み先着10名様で開催する予定です。

またモザイクアートの除幕式の日に合わせて、貸出利用者、先着100名様に「牛革製しおり」のプレゼントや、未就学児から小学校2年生までを対象とした塗り絵展示なども企画しております。阿知須図書館からは以上です。

○安光（裕）会長

はい、どうもありがとうございます。

それでは徳地図書館お願いいたします。

○徳地図書館 榎本館長

徳地図書館です。

まず、令和4年度事業実績についてですが、資料1の5ページの（5）です。

ここには載せておりませんが、図書館まつりにつきましては、4年ぶりに開催されました「徳地フェスティバル」と同時に開催しまして、前の年は150名程度でした入館者数は、700名を超える多くの方にご来場いただいたところです。当日のイベントは、子どもへの絵本の読み聞かせや、職員が図書館の本を参考に作成した作品と、その本を展示、3年ぶりに行いましたブックリサイクルなどを入館者の方に楽しんでいただきました。

その他の図書館利用促進のためのイベントですが、5ページにありますように、令和4年度は、地元徳地地域において「東大寺建立に関わった市町村サミット」が開催された関係で、図書館におきましても、7月から翌年3月にかけて、合計5回の歴史講座を開催し、延べ143名の来館者に熱心にご聴講いただいたところです。

また、10月には地域の読み聞かせボランティアの方々のご協力により、「ストーリーテリングのつどい」を開催し、6名の方に語り部になっていただき、講師から熱心にご指導をいただいたところです。

子どもの読書活動の推進につきましては、主に未就学児、小学生を対象に映画上映会や、ゲーム等を行う「ワイワイ図書館」をはじめ、一定期間に30冊以上の本を借りた児童に景品をプレゼントする「ブックリンピック」、小学5、6年生を対象に図書館の仕事内容を学習してもらう「図書館たんけん隊」などを開催しまして、子どもたちに気軽に図書館に足を運んでもらえるよう努めてまいりました。令和4年度の事業は以上です。

次に、資料1の7ページの（5）をご覧ください。

令和5年度の主な取組についてです。

徳地地域につきましては、昨年11月に徳地図書館の隣に徳地総合支所、地域交流センターや保健センター等が新築、供用開始をされました。また新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、人の動きも徐々に増えることが期待され、入館者の増加につなげる良い機会ではないかと考えております。

こうした中、新年度におきましては新たな試みとして、だしの素や味噌で有名

な株式会社シマヤの協力を得まして、図書館の視聴覚室において参加者に味噌づくりについて学習し、実際に体験をしていただこうと、今月の17日に「日本の伝統食材“みそ”を作ろう！」と題しました講座を企画し、現在30名の方に参加申し込みをいただいております。

また、徳地地域の方々と連携した歴史講座、「ストーリーテリングのつどい」などの行事も引き続き開催し、図書館の利用促進を図ってまいります。

子ども読書活動の推進につきましても、昨年度に引き続きまして、「イースターイベント」や「ブックリンピック」「図書館たんけん隊」、ブックスタート体験会、各種イベントを開催しまして、子どもたちへ本に触れ合う機会を積極的に提供してまいりたいと考えております。

また、地域交流センター分館への配送サービスの周知につきましても、しっかりと発信してまいりたいと考えております。徳地図書館は以上です。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

最後に、阿東図書館お願いいたします。

○阿東図書館 徳本館長

それでは、阿東図書館の令和4年度の事業からご説明申し上げます。

資料1の5ページをご覧ください。最初に図書館利用の促進です。

その中におきまして、まず「図書館まつり」ですが、昨年8月7日に開催をしまして、DVD上映会の他、ワードラリーに参加してもらったビンゴカードでビンゴ大会を開催し、参加者に雑誌などの付録などを景品として差し上げたところです。まつりの終了時には、館内に飾り付けておりましたバルーンや職員が作成した切り絵などもプレゼントし、大変喜ばれたようです。

また、山口線の小郡津和野間が開通して100周年ということで、小郡図書館と連携して「山口線をつなぐ鉄道写真展」を7月21日から8月24日まで行ったところです。この図書館まつりの来館者数は延べ473名でした。

次に、4月30日に開催した「こどもワイワイ図書館」につきましても、DVD上映会で視聴いただいた「オオカミと7匹の子ヤギ」をテーマに、ワードラリーを行うとともに、ボランティアで読み聞かせを行っている地域の方々にご協力をいただいて、おはなし会を実施したところです。延べ556名の方にご参加いただいたところです。

次の「ぶっくんカフェ」ですが9月と3月の2回です。図書館の中庭に「ぶっくん」移動図書館を停めまして、その周りに机といすを配置することで、青空の下、ゆったりとした気分で読書を楽しんでいただきました。12名の参加があったところです。

また、子ども向け、大人向け、計9回にわたってDVD上映会を開催しまして、図書館に足を運んでいただく機会を設けたり、季節ごとの特別企画として、大掛かりな形で、例えば正月には、段ボール箱で鳥居をつくる、そういったこと

をやったところです。

また、本の平置きを行ったりしまして、来館者の目を引くよう努めてきたところです。

さらに「ぶっくん」の車庫を新築しました。阿東地域なので、令和4年から5年にかけては雪が降る日が多かったこともありましたが、積雪にも支障なく、図書の積載作業ができたところです。

その他、小学生の施設見学として、徳佐小学校の子どもたちに「地域まちたんけん」と称しまして、図書館の利用案内をしたり、中学生、高校生に職場体験をしていただいたところです。以上が、4年度の事業実績です。

引き続き、5年度の事業予定です。

資料1の7ページをご覧ください。

まず、図書館利用の促進です。今年度も特別企画として大型展示物の作製展示や本の平置きスペースを拡大するなどによりまして、来館者のより興味をひく展示を企画しております。

その他資料には掲げておりませんが、今年が山口線全線開通100周年の節目です。これを記念しまして、阿東在住の大野進二さんが作製された「JR山口線100年の足跡」をはじめとしたDVD上映会の開催なども企画しているところです。

次に、子どもの読書活動の推進についてです。今年度も子ども向けの「DVD上映会」や「こうさく教室」を開催しまして、子どもたちに図書館で楽しんでもらう機会を設けたり、赤ちゃんの健康相談日の日程に合わせてブックスタート体験会を行ったりする予定です。また今年も徳佐小学校の児童に来館いただき、図書館での楽しみ方を体験していただこうと考えております。

次に、各分館配送サービス及び移動図書館の周知についてですが、引き続きこれらのサービス内容の周知を行いまして、利用者の一層の拡大に努めてまいります。

最後に新規事業として掲げております、開館10周年記念事業です。

今年度は阿東図書館が新築移転をしまして10周年の節目に当たりますことから、7月23日の「図書館まつり」に併せまして、記念事業を実施することとしております。主な事業内容としましては、世界で活躍されておられます、阿東在住の林隆雄さんの「チェーンソーアート」の実演や、10周年を記念しまして、林さんが前もって作成された作品の制作過程を、大野さんがDVDに収められておられますので、その上映会を行うこととしております。

以上で、阿東図書館の説明を終わります。

○安光（裕）会長

はい、どうもありがとうございました。

それでは、ただいま各館の令和4年度事業実績及び令和5年度事業予定についてご説明いただきました。

ご意見等あればお願いいたします。

○仲村委員

ご報告ありがとうございました。

三点お尋ねいたします。一つ目が、資料2の5ページに「こどもワイワイ図書館」というのがありますが、これの「入館者数」と「イベント参加者数」を足したのがありますけれども、これは重なりが一切ないということで考えてよろしいでしょうか。

○中央図書館 大井館長

重なりはあるかと思えます。延べなので、イベントの申込者などを「イベント参加者数」とカウントしております。また、館の入口のBDSなどで、カウントしたものが「入館者数」です。

○仲村委員

もし重なりが少しでもあるとすると、両方の数字は足さない方がいいのではという気がしております。数値的な根拠としては微妙かなと。一点ありがとうございました。

二点目が、新しくマイナンバーカードを図書館利用カードとしてという話で、想定問答だと思うのですが、コストや情報管理のリスクなどが、結構図書館では指摘されることがあると思うのですが、この点についてどういったお考えや対策などが考えられるか。

特に情報管理の部分について何かお考えがあれば、お尋ねしたいと思います。

○中央図書館 大井館長

情報管理の部分と言いますと、セキュリティ面でしょうか。

○仲村委員

そうですね、特に、マイナンバーカードを図書館で持ち歩いたりとか、図書館がマイナンバーカードを使って作業する点で、情報管理の問題とかをいわれることがありますので、この点についてどうかということです。

○中央図書館 大井館長

今、マイナンバーカードの使用の想定としましては、マイナンバーカードを持って来ていただいて、リーダーにかざしていただいて、それをマイキープラットフォームという連携するシステム、国が作ったものがありますが、それと図書館システムを連携させて認証するというようなことで、ある程度他の館でもやっていますので、その辺りは、さほど気にはしていませんでした。

スマートフォンの方は、画面にカードを表示するもので、個人の方がしっかりロックされておられれば、安全であり、個人の方がしっかり管理していただくということが大事と思っています。

○仲村委員

ありがとうございました。

私は、別に絶対反対という訳ではないのですが、そのようなリスクがあるとい

うことを踏まえていただいたうえで、ご検討いただいたらいいのかなというふうには思っています。

三点目、これは単に確認なのですが、阿知須図書館さんの活動で、サードプレイスとして快適に利用できる環境づくりというのが、昨年度も今年も書いてあるのですが、もし差し支えなければ具体的にどのような取り組みかご教示いただければと思います。

○阿知須図書館 国重館長

具体的に申しますと、特に何かをしているというわけではなくて、本を読みに来る、新聞を見に来るだけでなく、学校の宿題をしたりするコーナー、というかテラスといったものを設けて、図書館に関わるだけでなく、友達と来て過ごすスペースというようなところを、こじんまりとしたところですが設けているところ

○仲村委員

いずれも、丁寧にご説明いただきましてありがとうございます。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

今のDX化は、中央図書館だけが出ていますが、中央図書館だけが試みられるということでしょうか。

○中央図書館 大井館長

全体です。作業は中央図書館で行うということです。

○安光（色）会長

全館で、マイナンバーカードやスマホが使えるということですね。

今、ご指摘いただきました、セキュリティの件はもう一度確認していただきたいなと思っております。

三坂さん、お願いします。

○三坂委員

ざっと全部見ましても、図書館の本そのものを利用するイベントというか読書会とか、こういう本を読みましようとか、そういうのが全くないなという感じがしています。

私自身が県大の方でも山大の方でも、開校講座とか公開講座というのに行っています。県立図書館も市立図書館も利用していますが、山大・県大の図書館も利用させていただいて、そういう講座に参加しています。宇部や徳山など山口市外から来られて、定員以上に応募がある。例えば「ラフカディオハーンを読みましよう」という会を何回か積み重ねて本を通して交流しながら、とてもいい読書会を、山大でも県大でも皆さん遠くから来られています。そういう需要は確かにある。

お子さん向けのサービスも確かに必要ですけど、人生100年時代と言っていますし、高齢の方も多いので、そういう需要というのは確かにあると思います。

そういったことも何か考えてやっていただけたらなと思っています。よろしくお願いいたします。

○安光（裕）会長

色々なイベントを考えられるでしょうが、その講座という中に、少し新しい視点というか。

○三坂委員

先ほど、年間の蔵書の予算が3万7,000冊、金額にしたら6,000万円、どうしても今、オンラインで、データで読めるようになりますが、その物として6,000万円、毎年買うのであれば、そのもの自体を生かして、人が集まって、それを通して交流、それが文化、山口のそういう土壌の「とても本を読むまちだ」というのが、そういうところも生かしていければ、とてもいいかなと思うので、どうぞよろしくお願いいたします。

○安光（裕）会長

はい、よろしくお願いいたします。

安光真裕美さんお願いします。

○安光（真）委員

私は、もともと子育て支援とか子ども読書というのをメインにやってきておりまして、こうやって取組に、子どもが中心になったたくさんのイベントが組まれたり、いろいろな事業が組まれていることは、本当にありがたいと思っていますし、それは心から応援したいと思います。

その中で、市としても読書、県全体でも子どもの読書というのを、すごく重要に考えておりますが、まだまだ色々なことが出来るのかなと思います。

この3年間、コロナが大変な邪魔をしましたので、少し状況が良くなったということで、これから大いに期待したいと思っておりますし、私自身も少しコロナで引っ込んでしまったところがありましたので、特に地元の図書館とか、地元の子どもたちに出来ることをやっていきたいと思います。

色々な図書館の取組を見て、やはり地元の背景というものがあるので、色々なものがあっていいと思うのですが、これならというものがあったら、お互いが共有して一緒にやったり、取り入れたりすることなど、交流があってもいいかなと思います。

図書館の運営そのものは私もよく分かっておりませんが、地域を巻き込んで、今、子どもの居場所ということを色々な面で協議していますが、私は図書館であったり、そういうところが、ある程度子どもの居場所になってくれたらなという思いを強く思っておりますので、よろしくお願いいたしますという感想になります。

よろしくお願いいたします。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございます。

山田委員さんよろしくお願いいたします。

○山田委員

勤めている学校の状況にしかならないかもしれませんが、先ほどありました、学校司書さんの力量、いろいろなイベントをしていただいた時には、ぐっと学校の図書館の利用数が増えます。なかなか中学生ですので、公共図書館の方に出向いていくということは時間的にも多くはないかと思いますが、校内放送で新刊の紹介をしてもらったり、授業で学校の図書館を使ったりすると、かなり子どもたちが出会えるチャンスが多くなるので、私もそういうイベントというのは効果があるのかなと思います。

先ほど、中央図書館のDX化等で、なるほどなと思ったのですが、山口市の小中学生が全てタブレットを1台持っておりますが、クロームブックを使っております。子どもたち自身がクロームブックを使って、活用できて、自分が読んだ本とか、借りたりした本とかを蓄積できるような、個人的に色々ところで買った本とかをアプリを使って書きとめている子どもたくさんいます。学校図書館で借りたり、公共図書館で借りたりした本を、簡単に蓄積できるような、記録できるようなアプリを紹介していただいたり、導入していただいたりすると、ゲーム的に面白いのかなと思いました。

小郡中学校は750人位おりますが、そうやってたくさん増えれば増えるほど、今導入していただいている探調TOOLが、先週、市内全部が不具合を起こして、なかなか貸出の手続きが出来ずに、ものすごく並んでいてしまって、結局、端末処理ができなかったということが、1週間くらい続きました。

学校司書さんの集まりで、解消していただいたのですが、折角子どもたちが出来おうとしているときに、出来なかったことで、また遠のいてしまうということがあったら残念だなと思います。

私達でいうと、ICTの方で管理するときに活用できるようなものと、そのシステムをどこにお願いしたらいいのか、学校の方なのか、市教委の方なのか、学校図書館のこういう場なのか、ということ、色々私も学習したいなと思っています。

学校では15年くらい前に朝読書をした時に、本を読む習慣がついたのですが、ここ何年間かやっぱり学校によっては、私が体験したものだけで申し訳ないのですが、朝の時間が読書ばかりではなくなっている様子がありました。小郡中学校では、今年からまた週5回、毎日朝読書をするようにしましたら、やっぱり子どもが図書館に来る数がとても増えてまして、そういう機会を作らなければいけないのかなというふうに思っております。

読書習慣のない子には、2、3年前にありました、学校図書館の中四国大会に講演いただいた、脳トレの東北大学の先生の話そのまま借りて話したりすると、読書に効果があるとか、意味があるとかというところから、また本を読むようことが、増える機会があるように思います。印象ばかりで申し訳ないのですがそんな様子です。

○安光（裕）会長

どうもありがとうございました。

ICT化の問題では、学校からどこに問い合わせたらいいかなど、今すぐ回答できますか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

探調TOOLの事は、こちらで管理していないので、基本的には市教委、学校教育課にお伝えいただきたい。

読書履歴の管理機能がアプリであればいいなというお話がありましたが、公共図書館が、それを用意するのはなかなか難しいです。今あるものとしては、市立図書館のホームページにアクセスしていただいたら、「マイ本棚」という機能があります。これはログインをしていただきますと、その中で、これまで借りた本や、予約をした本を登録することができる機能です。大人向けの仕様ですので、中学生が使うのは難しいかもしれませんが、そういったツールを用意していますので、一度ご覧いただくといいのかなと思います。

子ども読書の計画を昨年度策定しましたが、この中で電子図書館を計画としてあげています。児童生徒が、IDパスワードなどを使って、電子書籍をクロームブックで読めるようなことができればいいなということを計画にあげておりますので、将来的にはできるかなと思っております。

○安光（裕）会長

館長さんに確認ですが、電子書籍化の予定は令和何年ですか。

○中央図書館 大井館長

サービス計画では、令和7年に予定をしております、図書館システムの更新と併せた形でできないかということで考えています。

費用的なものも一緒に行った方がいいということもありまして考えております。

○安光（裕）会長

令和7年、2年後ではありますが、これも学校図書館側の意見もあれば、うまくリンクさせていくようなことなど、十分に充実させていけばいいなと思っています。

次に、井上委員さんいかがでしょうか。

○井上委員

ちょっと個人的に「鉢の子」として、質問させていただきたいことがあったのですが、今でもよろしいですか。

○安光（裕）会長

二点あるというふうに聞いておりますが、言っていただいて、回答をとということでもよろしいですか。

○井上委員

一つ目は「資料の購入費」ということで、先程も話のテーマに上がりました

が、資料購入費の増額がなかなか難しい状況で、特に雑誌とかの購入が響くのではないかということで、その影響がどうでしょうかということと、増額を引き続き要求していただきたいのですが、それは素晴らしいことだと思います。

ただこういう世相ですので、例えばなかなか難しい状況の中、「雑誌のスポンサー制度」などを取り入れることは、ご検討はいかがでしょうか。

それから、あともう一つは、「こどもワイワイ図書館」は、子どもや親子で来ていただける機会なので、そういう時に、「子ども権利条約」をテーマに「鉢の子」で行事を行いました。知っている方が少ない「子ども権利条約」を、「ワイワイ図書館」で、全図書館の共通のテーマとして、取り上げていただくことはできないでしょうか。

本来、市全体としてと言ったら、こども未来課となるのかもしれませんが、図書館の可能性として、子どもが親子で集まる、そういう子ども対象の「こどもワイワイ図書館」だからこそ、コラボではないですが、ここは、「この壁」というふうに区切ってしまうのではなくて、図書館の可能性として、使い方として、最後の子どもよりどころみたいなところで「子ども権利条約」を取り上げていただくことはいかがでしょうか。

○安光（裕）会長

「鉢の子」さんからは、事前に二つ質問を出してくださったということで、事務局お願いします。

○中央図書館 大井館長

事前にご質問をいただいておりますので、調べたりいたしまして、準備をさせていただきますところでは。

前々から「雑誌スポンサー制度」というのはありまして、サービス計画にも、寄付制度について検討するとなっておりますので、これは検討すべきことであろうと思っております。

ただ、県内で実施しているところにお聞きしまして、例えば岩国、柳井、萩、長門、宇部市は制度を導入されており運用されておられます。そういった中で、萩市は、雑誌タイトルの設置している半分位が、スポンサーでされているというようなことがありまして、かなり成功しておられるなというような印象を持っています。ただ、その他の館におかれましては、10%台、いっても20%台くらいのスポンサーを入れておられる。課題としてはスポンサーになっていただける方がなかなか集まらないというようなことをお聞きしております。館を運営する中で、そこが職員の手間とのバランス的に、どちらがいいのかということも考えながら、導入を検討していかなければいけないのかなと考えているところです。スポンサーの確保が難しいということと、雑誌の休刊が増えているというところもあろうかと思えます。そうするとスポンサーとしても広告媒体としての価値というものが、下がったとは言いませんが、なかなか難しい時代になってきているのかなというところで、スポンサー集めが難しいのかなという印象を持っており

ます。導入についてはしっかり研究しながら、今のは県内ですが、県外等成功しているところもあるかもしれませんので、そういった所も調べつつ、もう少し検討させていただきたいなと思っております。

それともう一つありました、「ワイワイ図書館」での「子ども権利条約」をテーマとした開催ということです。今現在は、読書のきっかけづくりのためのイベントということで、子どもが楽しめて飛びつきやすいと言いますか、簡単な言葉で言いますと、そういったものを中心にイベントを組んでおります。

図書館には、「ワイワイ図書館」に限らず、様々な啓発のお願いというものが結構ありまして、全市的に取り組んでいるものとしては、ブルーライトで、発達障害の方のランドマークをみんなで青くして、というようなことで、図書館で関連書籍の展示等をやったりすることもあるのですが、なかなか全てお受けするというのもマンパワー的な部分で出来ない部分も実際にあるところなんです。例えば市の人権推進課とコラボしてやるとか、そういったことなら検討できるかなというふうには考えております。

今のところ、「ワイワイ図書館」で権利条約をテーマにということまでの考えは難しいのかなと思っております。以上です。

いい答えにならなくて…。他の所の連携というのはありなのかなと思います。

学校とか幼稚園とか保育園とか、そういった所での取組が、子どもたちにいきわたるのかなということも考えております。むしろそちらの方が引っ張っていただくといいのかなという、図書館がどこまでできるのかというところが悩ましいと感じました。

○井上委員

どうもありがとうございました。

○安光（裕）会長

「ワイワイ図書館」でとおっしゃったので、限定になってしまうので、さっき三坂さんがおっしゃったように、講座をもう少し広げていくという意味ではできるかと思うのです。それが発達障がいの方であろうが、子ども権利条約であろうが、そのテーマを何にするかというところで、出来ないことはないのです。他と連携しないと出来ないというのも少し寂しいかなと。

もうちょっと講座、「ワイワイ図書館」となると子どもたち中心になりますし。中学校、高校、大学生とか、それからそれ以上の大人というふうなことだったら、「子ども権利条約を学ぶ」というのも一つの手ではないかと思っておりますので、無しは無いかというふうに思います。

一村さんどうですか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

講座というのは、何かそういう色々なテーマでということですか。

○安光（裕）会長

歴史講座を徳地でなさったように、何か、年に何回か。例えば山陽小野田は東

京理科大学とコラボして「サイエンス」というようなことをやっております。

山口では今年度出来るかどうかは別として、年に3回くらいはします、まずは1回です、2回です、というふうな中に、例えば今のようなテーマを入れ込むことは出来るのではないかなと、お聞きして思ったものですから。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

そういう「大人向けの講座」というのは、図書館単独で、例えば中央図書館の場合は出来てない状況だと思います。

例えば先月だったら、「ウォーキング講座」をやったのですが、それは市の保健センターとコラボ企画という形で事業をやっております。

今、図書館で企画をするときは、基本的には市の他の部署との連携事業という形で実施することが多いので、また、そういう講座をどのように、これから持っていくかということは、あり方を少し研究させていただきたいなと思います。

○安光（裕）会長

今すぐというわけにはいきませんが、方向性としては何か考えていただけるといいのかなという感じです。

○三坂委員

今、山陽小野田の話が出ましたが「アインシュタインの相対性理論」という講座を東京理科大の先生がやられて、ご高齢の方が、とにかく分かりたいという熱意のもとに結構たくさん集まって、そういう需要も確かにあるということです。

健康増進課とコラボの「ウォーキング講座」に参加させていただいたのですが、楽しかったです。いらっしゃる方が、3年ぶりにやっと開催されたと。先生がとても素晴らしい楽しい先生で、みんなで歩いていたら外国のご夫婦の方が珍しそうに見ていたのですね。私ハローと言って、アムウォーキングですと言って、ワーッと行ってすごく楽しかったです。またよろしく願いいたします。

○伊東委員

今のお話ですが、それこそ「図書館単独で大人向けの講座なんかはできない」それは変な話。当たり前なこと、図書館の中において、そういうことをやるのだということは、山口市全体として、今度の「子どもの権利条約」についても「図書館のワイワイ広場」みたいなところというのは、実は「子どもの権利条約」に関係しているのだよということは、山口市全体でもそれほどのまだ認知がないだろうと思うのです。

逆に図書館からのアピールとして、こんなことは図書館の事業はこれに関係していることなんだということで、いわば山口市全体の中で、「子どもの権利条約」に関してのイベントなり、授業なりをやってくる。その中で、その場所として、今既にやっているところは小郡図書館なんだよとか、山口市の図書館なんだよというように、そういうアピールできるポイントには絶対なると思います。

それはただただ、図書館に単独の予算をとってきて、図書館の主催で講座をやるからえらいわけではなくて、山口市全体の中での事業として、その中で図書館

というものが今まで、本のことばかりと思われているところがあるわけだけど、そうではなくて「子どもの権利条約」に関するようなところをやっている、事業をやっている部署は実は図書館なんだということをむしろアピールするような。先ほどのウォーキングではありませんが、そういうのは変に図書館の予算で使わなくてよくて、他の所でやるのと、どんどんコラボして行って、よその予算でもって、いい講座をやればいいのかと、そういうふうに変えたいのではないかと。

もちろんそういうふうを考えてらっしゃるとは思うのですが。受ける側としてもそういうふうな感じを持った方がいいのではないかと思います。

○属委員

徳地の図書館にいつもお世話になっています。「ストーリーテリングのつどい」、毎年開催していただいて、参加者がいつも大人ばかりなのですね。聞きに来てくださる方が。子どもさんも呼んでいただけるようにしていただけたらと思います。呼んでいるのかもしれませんがもう少し声を大きくして呼んでいただけたらと思います。

それともう一点、秋穂図書館の「大人のためのおはなし会」を開催されていますが、合わせて28名、延べで28名の参加ですか。出来ましたら詳しく、どんな活動をされているのか、うかがいたいと思います。

○安光（裕）会長

はい、お願いします。

○秋穂図書館 網田館長

私もこの4月からの着任で、昨年度の実体は見ておりませんが、「資料2」3ページの12月3日と3月4日に開催した「大人のためのおはなし会」は、延べで28名です。

今週の土曜日、6月3日になりますが、今年度の「大人のためのおはなし会」を交流センターの同じ場所で実施します。「秋穂ふれあいまつり」というイベントと同時開催になっておりまして、たくさんの方にご参加いただければと思っております。以上です。

○安光（裕）会長

具体的には、大人のためとは、どんな素材とか使われるのですか。

○安光（真）委員

参加したい人が、読んで聞かせたいという本を自由に持ち寄って、読み合いをしたり、読まなくても単純に聞きに来るだけの方もいます。それをやっている、私も読みたくなったと言って、途中で何か探して来られる方も。図書館もありますので。ちょっと常連さんっぽくなっているところはあります。

○安光（裕）会長

お薦めの図書の紹介をされる。

○安光（真）委員

私は特に子どもを対象の読み聞かせをしています。時間に制限があったり、子どもの年齢によって読む絵本をどうしても選ばざるを得ないけれど、自分が好きだけど長すぎて読めないとか、これは子どもにはちょっとどうかなという本がありますよね、そういうのを大人の人なら聞いていただける、それに自分もチャレンジできる。そういうので自由なのです。

長い人はとても長いのを持って来たりして、昼までに終わらないよというような日もあります。だから許す限りの時間で自由にやります。2冊読む人もいれば、1冊だけ読む人もいます。

○安光（裕）会長

なかなか楽しそうな企画だと思って聞いていました。

（3）その他について事務局から何かありますでしょうか。

○中央図書館 平岡サービス担当主幹

それでは（3）その他ということで、資料2の5ページ、既に行われております今年度のワイワイ図書館のイベントについて掲載しております。こちらの方は、それらの図書館で実施された事業内容、イベント内容と、入館者数、イベント参加者数などを記しております。

読み上げますと、中央図書館におきましては、今年度既に行われております、「ワイワイ図書館」につきましては、入館者数は1,519人でした。

イベント自体の参加者数は961人です。

主なものとしては、スタジオAで「ジャグラーアカグラさんによるジャグリングショー」が行われました。150人程度のご参加がありました。

大きなものとしましては「たこづくりとむかし遊び・石うす体験」、こういった所で200人以上のご参加をいただいております。

小郡図書館におきましては、入館者数が581人で、イベント参加者数が154人でした。主なものを上げさせていただきますと、例えば「レシートの芯でコマをつくろう」というようなものを設けましたら、非常に面白くレシートの芯が回っているというふうにお伺いしております。楽しいイベントになっています。

秋徳図書館におきましては入館者数257人、イベント参加者数は480人でした。「おはなし会スペシャル」など、大きなイベントが行われております。

阿知須図書館は、入館者数は231人で、イベント参加者数は184人でした。こちら5つのイベントを行っております。

徳地図書館は、入館者数は112人で、イベント参加者数が52人ということで、上映会「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」が視聴覚施設で行われております。

阿東図書館につきましては、入館者数が333人で、イベント参加者数が33人でした。こちらも地域交流センターなどと連携して、小ホールというところで、上映会「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」、こちらも徳地と同じものを上映されました。

全体としては、入館者数は3,033人、イベント参加者数は1,864人。合計で4,897人、約5,000人のご参加をいただきました。以上です。

○安光（裕）会長

はい、ありがとうございました。

他に「ワイワイ図書館」についてお尋ねしたいということがありますでしょうか。他にご意見等はありませんか。よろしいでしょうか。

今日は各図書館からの報告があったということで、皆様方からのご意見等を頂戴する時間が大変少なくて申し訳ありません。次回は、出来るだけ皆さんからのご発言をいただきたいと思います。

それでは、以上で本日の議事は終了いたしました。

これからは事務局に進行をお返しします。

○中中央図書館 中山管理担当主幹

それでは、事務局から2点ご連絡をさせていただきます。

一つ目は、次回の開催時期についてでございます。秋頃の開催を予定しております。開催日によってはご都合もあろうかと思いますが、その折はご協力の程よろしく願いいたします。

二つ目は、報酬、旅費口座等についてご提出が必要な方へは、事前に様式を送付させていただいておりますので、提出がまだの方はよろしく願いいたします。

以上で、令和5年度第1回山口市立図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。

山口市立中央図書館
TEL 083-901-1040

